

令和2年度 第8回 政策推進会議報告

日 時 8月31日 15時00分～16時10分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

総合政策局長及び資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・移動式 PCR 検査用車両を導入するとのことだが、この車両はどのようなときに使うことを想定しているのか。
- ・例えば小学校等において集団で採取しないといけないときに、検査用車両でその場に行って速やかに検査を行う。また、集団でなくても各家庭に検査に行くことや、特定の地域に検査拠点を作ることなど、色々な活用を考えている。
- ・今回の市議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、本会議・委員会の出席者等に対して入室時に検温をさせていただくのでご協力をお願いする。
- ・(市長) 出席者はフルメンバーの予定か。
- ・議員側はフルメンバーである。
- ・当局側は、一般質問においては6月と同じように、午前・午後①・午後②の区切りで、その時間帯に答弁予定がない出席者は途中退席できるように取り扱わせていただく。
- ・(市長) それは別の仕事が入ったら退席してもいいという話ではなく、密を避けるためか。
- ・できるだけ密状態を避けるために、答弁の予定がない方は、自席に戻って議会中継で一般質問の進行を確認しておいていただくという形である。
- ・(市長) 承知した。

2 令和3年度予算編成方針(案)について

総合政策局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 調整会議でも申し上げたが、課レベルの見直しではスクラップアンドビルドにも限界があるので、もう少し大きな単位で組み替えていく必要がある。各局長がリーダーシップを取っていただくようお願いする。また、当然、喫緊の課題や新型コロナの対応など、予算編成方針に必ずしも当てはまらないケースも出てくるかと思う。それについては副市長ないし三役ベースでの調整を積極的にやっていくのでご理解いただきたい。

3 令和3年度主要事業(令和3年度に向けて新たに取り組む事業など)に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

総合政策局長から資料に基づき報告。

4 令和2年国勢調査について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・調査票を提出しない方へのアプローチはどう考えているか。
- 調査員や指導員が現地確認をしながらしっかりと対応していく。
- ・(市長) 事前説明で話題になったが、特別定額給付金の支給を直近業務で行っている。これは住基台帳をベースに行ったので、実際に住んでいる人を対象とする国勢調査とは少しずれるところもあるが、宛先不明で郵便物が返ってきた住所等の新しい情報がわかっている段階でもあるので、何かこの経験を国勢調査にも上手く活かさないものかという議論があった。国勢調査は基本的には調査員が対応するが、もしかしたら地域課の皆さんに何かお願いすることがあるかもしれないし、調査を拒否するつもりはないけど戸惑っているという方へのサポートなども場合によっては行っていただければありがたいと思う。皆さんご承知かと思うが、この国勢調査で出た人口の数値が地方交付税の算定根拠等にも使われることになる。実際にこのまちに住んでサービスを受けている方をこの調査で把握できないと、非常に財政が苦しいことになってしまうということもあるため、積極的な姿勢でしっかりと調査をしていきたいと思うので、各局の皆さんにも少し気にかけていただきたい。

5 その他

- 総合政策局長から、ティーンズサポートチケット2020(10月~2月公演分)について説明。
- 経済環境局長から、「あま咲きコイン」の実証実験の開始について説明。(以下、質疑等)
 - ・(市長) 既存で実施している色々なポイント事業をあま咲きコインに統一していくことはもちろんだが、今後SDGsを後押しするようなポイント対象を増やしていきたいし、この事業を支えてくださる企業さんの輪も広げていきたい。あとは、尼崎市が徴収する公共施設の使用料等の様々な支払いにおいても、あま咲きコインを使用できるようにしていきたいと思っている。今回の実証実験では、尼崎城の入城料と案内所での買い物だけが対象だが、ゆくゆくは市が関わる料金の支払いにはできるだけこの地域通貨を使えるようにしていきたいのでよろしく願います。
- 経済環境局長から、脱炭素社会実現へ向けての尼崎市・NTTグループ・尼崎信用金庫の連携協定締結について説明。
- 消防局長から、令和2年度熱中症救急搬送状況について説明。

以上